



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年師走15日
第16号
校長 矢野 晴一

学校教育目標:「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「わたしたちのがんばりどころは・・・！」

～ 令和2年度 福岡県学力調査の結果を受けて ～

本年度は、例年4月に実施予定の全国学力・学習状況調査が中止となりましたが、9月16日(水)に、福岡県内の中学1,2年生を対象に「福岡県学力調査(国語・数学)」が行われました。この調査の目的・内容は次の通りです。

目的

- ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、県内各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

内容

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
<ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

以下に「福岡県学力調査」における**本校の結果の概要**をお知らせします。

【福岡県学力実態調査】(1,2年生対象:国語・数学)

【注】「知識」…基礎 「活用」…応用

「領域」…国語は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語文化と国語の特質」

数学は、1年生が「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」

2年生が「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」

・国語について

全体の平均正答率で見ると、国語は1年生、2年生ともに県平均とほぼ同じくらいの結果でした。

領域別にみると、1年生では「書くこと」において、2年生では「読むこと」において少し課題がみられました。

「知識・活用」の面で見ると、2年生の「知識(基礎)」が県平均を大きく上まわりました。

・数学について

全体の平均正答率で見ると、数学も1年生、2年生ともに県平均とほぼ同じくらいの結果でした。

領域別にみると、1年生では「計算や数量関係」において県平均を上回っていましたが、「測定や数量関係」において少し課題がみられました。

2年生では「数と式」「図形」「関数」とともに県平均を上回っていましたが、「資料の活用」において少し課題がみられました。

「知識・活用」の面で見ると、1,2年生とも「知識(基礎)」「活用(応用)」ともに県平均とほぼ同じ結果でした。

コツコツと
「積小為大」
ただコツコツと
コツコツ歩む
ひたむきに
晴一

「積小為大」大原中全員で小さな努力を積み重ねましょう！

- ① 基礎的な内容を定着させるために、基本的な生活習慣(学習習慣)を整え、日々の小さな努力を積み重ねましょう。
- ② 宿題だけでなく、計画を立てて自ら考え自ら工夫して学習に取り組む(自学)姿勢をはぐくみましょう。

「寒さをのりこえ、朝陽をあびながら！」～ 駅伝早朝練習 ～

朝の冷たい空気の中11月30日(月)から1,2年生による駅伝の練習が開始されました。

例年とは違い、朝の健康観察と検温を行ってから練習開始となります。子どもたちは、朝の光をあびながら、頬を赤く染め白い息を吐きながら、自己の記録を1秒でも伸ばそうと精いっぱい走っています。お互いに声をかけ合い、励まし合いながら走る姿に、「絶対に禪をつなぎたい」という願いを感じることができます。

年明けの1月14日(木)には、筑後地区中学校新人駅伝競走大会が大牟田市の諏訪公園周回コースで開催されます。

雨の日も風の日も、毎日毎日コツコツと努力を重ねてきた子どもたちが、それぞれの自己記録や大原中のチーム記録を更新することができるように心から応援したいと思います。

「入賞おめでとうございます！」～ 水源の森ポスター表彰 ～

ある日、本校宛てに木でつくられたすてきな賞状が届きました。確かめてみると、「水源の森ポスターコンクール」の賞状でした。

2年生の **さん**が**福岡県水源の森基金理事長賞**を受賞しました。今年の夏休みはとても短かったのですが、その中で自ら設定したテーマに基づいて主体的に作品づくりに取り組んでくれたことに敬意を表するとともに心から称えたいと思います。

年末が近づくにつれ、子どもたちの活躍を表す賞状等が学校に届けられています。感染症予防による制限のために体育館での表彰は行うことができませんが、2学期の終業式で、さまざまな大会やコンクールで受賞した子どもたちの活躍を紹介します。

「温かい励ましに感謝！」

～ 校区協働のまちづくり協議会 青少年育成部会の取組 ～

今、「ひまわり館東野」と「大原希望の森館」を訪れると、**ペットボトルによるすてきなクリスマスツリー**が点灯展示されています。また、12月8日(火)の午後、**メッセージ付きの花の鉢植え**が届けられました。

これらは、例年ならば小中学生で協力して行う「基山登山」が中止を余儀なくされ、「楽しみにしていたのがっかり・・・」という子どもたちの声をもとに、校区協働のまちづくり協議会青少年育成部会のみなさんが、制限された状況の中、「**少しでも子どもたちを元気づけたい**」と取り組まれたものです。

メッセージ付きの花の鉢植えは、現在、本校の玄関と各教室に飾らせていただいております。子どもたちの心を癒してくれています。

本当に大原中学校は、地域のみなさまから温かいまなざしで見守っていただいていることを実感するとともに、心からお礼を申し上げます。



小さいけれど大きな感動 …その17 「大切に使っています！」

10月5日(月)から新しいトイレの使用が始まっておよそ2か月が経過しました。ときどきトイレを見て回りますが、どのトイレも清掃が行き届いており、美しい状態を保っているのを見て、とてもうれしく思います。

きれいにしていただいたトイレを「**これからも感謝の気持ちを忘れずにきれいに使い、丁寧に清掃に取り組み、きれいな状態を保っていかなければ・・・**」と決意を新たにしました。

